

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

記入年月日
令和 3 年 4 月 23 日

事務事業名		子育て用品支給事業		事業区分		担当	
				新規/継続	新規	事務事業No.	010103001066
政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		
政策体系	総合計画の施策名		0101	子育て支援及び少子化対策の推進		所属課	040401
	政策名		01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり		課長名	健康推進課
	施策名		01	子育て支援及び少子化対策の推進		グループ	健康づくりグループ
	手段名		03	③経済面での子育て支援		担当者名	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	
	01	04	01	01	03	00	一般会計 母子衛生事業
				単年度繰返し (令和2年度～)			
法令根拠	 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入						
桜川市子育て支援用品給付事業実施要綱							

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 令和2年10月1日施行。妊娠中の女性に対し、子育て支援用品を給付することにより、出産及び子育てに向けた精神的負担の軽減及び経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできるまちづくりを推進することを目的としている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・申請書受付 ・申請者に申し込み用はがきの送付 ・受け取ったはがきを指定する取扱店に送付する ・給付決定者に子育て支援用品を取扱店より郵送にて給付する
手段		

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
妊婦個別相談を実施し子育て用品の支給の案内を行う 妊娠中から使用できる授乳服等の育児用品を贈呈する	妊娠届出数	人	0.00	145.00	140.00	140.00	140.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・該当する年の4月1日以降に妊娠届出をした妊婦 ・妊娠24週以降の妊婦	妊娠24週以降の妊婦	人	0.00	86.00	80.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
出産及び子育てに向けた精神的負担の軽減 及び経済的負担の軽減が図られる	申請者数	人	0.00	86.00	140.00	135.00	130.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	0	790	2,000		2,000
			事業費計（A）	千円	0	790	2,000		2,000
			正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
	12 委託料	790			12 委託料	2,000		
			合 計	790			合 計	2,000

事務事業名	子育て用品支給事業	事務事業No.	10103001066	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年10月1日より、安心して出産を迎え、子育てがより楽しく充実したものになるよう、妊婦さんを対象に、妊娠から産後まで使用できる、授乳服等の育児用品の給付を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 出産を控え、必要となる授乳服の給付を受けることができ安心して妊娠期、産後期を過ごすことができる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 子育てに関する精神的、経済的な不安や負担を軽減する支援を行うことを目的としており、総合計画の子育て支援の充実と結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 市独自の事業であり、子育て支援用品の給付は安心して子育てできるまちづくりを推進する目的として妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 給付対象者が妊娠24週以降の妊婦であるので現状水準である
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 安心して子育てができる用品の支給は、必要であり廃止はできない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 令和2年10月1日からの開始事業であり事務事業としての類似事業はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 妊娠24週以降の妊婦に対し、一人10,000円程度の用品の支給で削減はできない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 妊娠24週以降の妊婦を対象としているので、公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 妊婦面談の連絡、面談の実施、申請書の受領、給付までの																							
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					
			(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐